

令和 7 年度 学校経営方針

笛吹市立一宮中学校 校長 樋口 友喜

1. はじめに

学校経営は、現在の学校教育が抱える課題と地域や生徒の実態を分析し、教育基本法をはじめ、山梨県学校教育目標指導重点や「笛吹市学校教育ビジョン」等を踏まえ、学校教育目標の具現化を目指すために、全職員が意識を統一し、知、徳、体のバランスの取れた生徒の育成を目指して推進したい。

本校の経営方針は、「生徒一人一人が自分の持ち味を十分に活かし、人間的に成長していく場としての学校教育を創造し、実践していく」ことを念頭に、学校教育に求められる教育機能を果たすと共に、変化に富んだ世の中に適切に対応することができる「生きてはたらく力を持った大人」への育成の第一歩としての役割を真摯に果たすことであると考えている。

2. めざす学校像・学校教育目標(めざす生徒像)・めざす教師像

テーマ:『明るく、元気に、たくましく』

(1)めざす学校像(我が子を通わせたい学校)

- ①生徒一人一人が自分の持ち味を発揮し、人間的に成長していく学校
- ②生徒が健康・安全に努め、安心して学びあえる学校
- ③地域・生徒・保護者の期待・信頼に応えられる学校
- ④危機管理マニュアル・危機管理意識が徹底されている学校
- ⑤環境整備が徹底している学校

(2)学校教育目標(めざす生徒像)

- ①深く考え、常に真実を求める生徒
- ②健康で勤労を愛好する生徒
- ③共同して物事をやりぬく生徒
- ④自主的で実践性に富む生徒
- ⑤豊かな心情を持つ明るい生徒

(3)めざす教師像

- ① 切磋琢磨する教師
- ② 自己研鑽に励む教師
- ③ 子どもと一緒に学びあう教師
- ④ 我が子の担任であって欲しい教師
- ⑤ 健康で何事にも挑戦する教師

3. 学校経営の基本方針

特色ある学校を創造するために、地域の状況・生徒の実態等を活かした教育課程の編成・実施・検討・改善に努め、一枚岩となって指導・援助体制を確立し、学校教育目標の具現化を図る。

学校経営を進める上で、特に重視したい点は、いつでも、どんな時でも、人間尊重の精神を大前提にすることであり、学校教育が公教育として営まれる以上は、諸法令に準拠し、教職員自らが研究と修養に努め、資質向上を図ることである。また、学校は地域社会を基盤として成り立っており、地域の教育への期待を常に深く掴み、それを具体化する責任がある。

(1)『確かな学力の定着』

基礎基本の徹底と「学ぶ意欲・確かな学力」を身につけた生徒の育成

ICT 活動を活用した学習活動の推進と授業での積極的活用

(2)『豊かな人間性の育成』

豊かな心(思いやり・感謝・素直な心)を持ち、善悪の判断のできる生徒の育成と絶対にいじめは許さない雰囲気確立する

道徳授業の充実と工夫をし、豊かな心の育成を学校全体で積極的に行う

(3)『健全な心身の育成』

心身共に健康で自他の命を大切にする生徒の育成

(4)『開かれた学校の創造』

学校と保護者・地域社会との更なる連携と協働ができる学校の創造

4. 重点(具体的な取組)

(1)『確かな学力の定着(知)』

・生徒が、学ぶ意欲と態度を身につけ、自己実現をめざすことが出来るよう、校内研究を中心に据え、教育活動の創造と実施を推進する。

・「確かな学力」の育成と学びを深める教育の実現のために、学習習慣の確立を図る。

・「基礎学力の徹底」と「学ぶ意欲の育成」に取り組む。

・豊かな言語活動に努める。

(2)『豊かな人間性の育成(徳)』

・規範意識や善悪を弁える感覚は、知育・体育より優先すべきものであり、全職員による統一した生徒指導体制を構築する。

・「基本的生活習慣の定着」をめざす。

・道徳教育の充実と工夫をはかり、学校行事・体験活動を通して道徳的実践力の育成を図り拡大校内研等を公開する。

・「豊かな人間性・豊かな心の育成」を目指し、「読書活動の推進」「生徒会活動(委員会活動・部活動)の充実」「キャリア教育の実施」「ボランティア活動の推進」「教育相談の充実」に力を入れる。

(3)『健全な心身の育成(体)』

・生命尊重の精神の下、健康・安全教育の充実に努める。

・個性を配慮した指導に努め、教職員と生徒が信頼関係を築き、生徒一人一人が大切にされる楽しい学校づくりを進める。

・体育の活動や日頃の活動を通して課題を明確にし、健全な心身の育成に向けて日常的な取組を行う。

・食育・保健指導を通して健康な体や心の教育の充実に努める。

・不登校生徒の減少に取り組む。

(きめ細かな生徒指導、SC の活用、生徒情報の共有化と同一歩調での指導)

(4)『開かれた学校の創造』

・笛吹市立一宮中学校となり、今年統合から63 周年を迎える歴史と伝統のある学校である。町内の多くの方々が本校の卒業生であり、地域の本校に寄せる期待は大きい。

・「子どもの幸せを願って」学校・家庭・地域との連携を強化し、地域に根ざした特色ある学校づくり、開かれた学校づくりに努める。